

アジア研究センター共同研究一覧

1. アジアの水に関する総合的研究 (2013年～2014年度)

研究代表者 後藤晃

研究分担者 [学内] 秋山憲治、川瀬博、重村力、高城玲、田中則仁、廣田律子、馬興國、松本安生、山家京子、李貞和

[学外] 佐藤寛、内藤徹雄、原隆一、松本武祝

研究の内容 今世紀に入り、地球温暖化や人口の増加、発展途上国の経済開発などに伴い、水の問題は世界的なテーマである。アジアでは、中国の水不足や水質汚染が深刻となっており、タイでは洪水により企業や日常生活が深刻な影響を受けた。メコン川など多くの国際河川では、水をめぐり水戦争が勃発する可能性もある。水は上下水道などの生活インフラにも関係し、水ビジネスのチャンスも拡大している。水は我々の社会や文化などにも関連する基本的に必要不可欠な資源である。本共同研究は、水を通してアジアを多角的に研究するものである。

研究活動

1. 水をめぐる諸問題の状況把握：文献や統計資料などの収集
2. 研究会の開催と意見交換
3. 現地調査やヒアリングなど

2. 北東アジアの秩序再編と今後の展望 (2013年～2015年度)

研究代表者 佐橋亮

研究分担者 [学内] 久田和孝、横川和穂、吉留公太

[学外] 増田雅之

研究の内容 北東アジアの国際関係は新たな展開を見せている。中国のパワーが増大することにつれ、米中関係の対立と協調のサイクルはアジア全域を揺さぶっている。また日中、日韓の政治関係は著しく悪化しているが、他方で日ロ、中韓などは従来とは異なる関係の進展がみられる。果たして各国は、どのような地域秩序を構想しているのか、どのように制度の役割、地域アーキテクチャを描いているのか。本プロジェクトでは上記の問題関心をもとに研究を進めていく。

研究活動

1. 年数回の研究会開催（外部講師の招へいを含む）
2. 国内外での資料収集、インタビュー等
3. 成果発表としての論文公刊

3. 東南アジアから西アジアにおける民主化と経済発展 (2013年～2015年度)

研究代表者 山本博史

研究分担者 [学内] 後藤晃、高城玲、永野善子

[学外] ケイワン・アブドリ、菅原昭、平川均、藤村是清、森元晶文

研究の内容 多くの発展途上国は世界資本主義の包摂に直面し、所得の上昇はみられるものの、社会や政治の安定が損なわれている。東南アジアから西アジアにおける経済発展と民主化の問題点をそれぞれ固有な社会の実態にまで掘り下げて分析することで、民主化運動と経済発展のもつ現代的意味を考察する。

研究活動

1. 年3回程度研究会を開催する。

2. 研究分担者は各自のテーマに沿った現地調査を行う
3. 研究テーマに即した題目で専門家による講演会を開催する。

4. 湖南省藍山県過山系ヤオ族の言語学的研究 (2013年～2014年度)

研究代表者 廣田律子

研究分担者 [学内] 泉水英計、彭国躍、松浦春樹、松丸正延、三村宜敬
[学外] 丸山宏、吉川雅之、吉野晃

研究の内容 中国湖南省藍山県に居住する過山系ヤオ族を対象として、伝承されている儀礼知識の全容を把握しようと取り組んでいるが、これには言語学的研究を進めることが不可欠である。そこでヤオ族の日常生活用語である基礎語彙集(2000～5000語彙及び文例)の作成と言語の基本構造の解明から始めようと考え、本研究を立ち上げた。

- 研究活動
1. 2013年度は予備調査と位置付け、藍山県湘藍村育ちの20歳台の女性をインフォーマントとして日常会話の語彙(約2000語目処)の記録作業を行なった。
 2. 2014年度は本調査を実施し、現地で年齢層の高い方をインフォーマントとして基礎語彙の記録作業を行なった。
 3. 基礎語彙集作成を行なう。

5. 東アジア近代における伝統とその変容 (2013年～2015年度)

研究代表者 村井寛志

研究分担者 [学内] 鈴木陽一、孫安石、東郷佳朗、松本安生、馬興國
[学外] 相原佳之、佐藤克春

研究の内容 東アジアにおける各地域の伝統的な文化・社会・制度が、現在のそれをどのように規定しているかを考察する。当面は、特に東アジア各地域の伝統的な環境観・自然観と、現在のその比較に重点を置いて、領域横断的に共同研究を進めていく。

- 研究活動
1. 年に数回の公開研究会・講演会を行う。
 2. 各メンバーごとのテーマに即した現地調査を行う。
 3. 東アジア地域で活躍する環境問題・環境史の専門家を招聘し、ワークショップを開催する。

6. 東アジア4国際都市の脆弱地区の調査、ならびに環境社会再生への方法の探求 (2013年～2015年度)

研究代表者 山家京子

研究分担者 [学内] 内田青蔵、重村力、曾我部昌史、趙衍剛、鄭一止、中井邦夫
久田和孝、松本安生
[学外] 尹柱善

研究の内容 東アジアの4国際都市一横浜(日本)、台北(台湾)、水原(韓国)、哈爾濱(中国)の脆弱地区を対象に、その課題・背景を調査・比較分析した上で、再生戦略について国際的討論により議論を深めながら、アジアの都市再生計画論の構築を試みる。

- 研究活動
1. 研究テーマに即した調査・研究の実施
 2. 研究討論会の開催